かちまいスポーツ
スポーツの日程・記録は▼FAX0155-25-2700
掲載写真の申し込みは▼TEL0120-25-9410

【女子五百㍍２回目】合計タイムで１位となり、全道初優勝を飾った神谷衣理那（白樺学園高・１年）の力強い滑り

# 瞬発力強化実り41秒台

## 逆境でも力出し切る「風邪忘れていた」

スピード

女子五百㍍は今年2月の全国中学を制した神谷衣理那（白樺学園）が、1年生ながら居並ぶ上級生をかわし全道女王の座をつかんだ。1回目はただ1人41秒台の41秒64で群を抜く速さを見せ、苦手意識のあるスタートダッシュも成功、100㍍を11秒12で駆け抜けた。

2回目は42秒07と記録は伸びず、41秒98の仁科有加那（帯南商3年）に次ぐ2位だったが、合計タイムで仁科に0秒40差で競り勝った。

神谷の強さは逆境でも力を出し切るところだ。大会前日の公式練習後に38度の熱を出した。病院で2時間点滴し、医者には出場を止められた。だが神谷は出場にこだわった。1回目の調子が悪かったら2回目は棄権するつもりだった。だが「風邪はリンクの上では忘れてました」と影響を感じさせない滑りを見せた。

それも春から幕別町のスキー場で約15㌔の重りをつけて20―30㍍登坂する過酷な練習が、瞬発力の強化につながっていたからだ。「インターハイでは3年間優勝できるよう頑張りたい」と神谷。2年後のW杯日本代表獲得という夢に向かって1つひとつ壁に挑戦していく。

男女五百㍍でアベック優勝を果たした白樺学園高の三上悟（３年・左）と神谷衣理那（１年）は、インターハイでの健闘を笑顔で誓い合う

# 神谷三上（白樺）500V

### 無駄のないフォームで初の栄冠

○…男子五百㍍は三上悟（白樺学園3年）が1回目37秒74、2回目37秒46で同走の中村駿佑（駒大苫小牧1年）をきん差で破り、頂点に立った。

昨年は先輩の羽賀亮平（日大1年―白樺学園高出）が37秒04の大会記録をマークしており、「少しでも近づけるように滑ったし年下には負けられない」と意地を見せた。

今季は帯広の森スケート場が使用できないため、緑ケ丘リンクで練習しているが、狭いためにスピードを思い切って出せない。苫小牧や釧路勢よりも練習環境は整っていないが、代わりにフォームを意識して無駄のない滑りを作り上げてきた。

「インターハイでは昨年3位だったので、今回は優勝したい」と気合が入っている。

いのうえ歯科医院
千代田町2-325-6480

### 安定した滑りで手応えつかむ

○…男子一万㍍で宮村健斗（池田3年）が初の15分台突破となる14分56秒08をマークし自己ベストを更新。惜しくも優勝は富岡峻也（駒大苫小牧1年）に2秒22差で譲ったが、納得の滑りに手応えは上々だ。

富岡との差は1周目と最終25周目のタイムに出た。最初の400㍍を1秒近く遅れて38秒40でスタートし、ほぼ35、36秒台を維持する安定したラップを刻んだが、ラスト400㍍は相手が33秒84と追い込みを見せたのに対し、宮村は36秒28と詰め切れなかった。

宮村は「風邪をひいていたが、何とか自分の滑りはできた。次は負けない」と、インターハイでのリベンジを誓った。

【男子一万㍍】最後まで力を振り絞り、2位に食い込んだ宮村健斗（池田高3年）

# 宮村（池田）2位

男子1万

# 白樺無念 駒苫に0―4

## 道高校スケート アイスホッケー選手権

【苫小牧】第60回道高校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会・第63回国体冬季大会道予選会（道高体連など主催）は22日、苫小牧市の白鳥アリーナでアイスホッケー、ハイランドスポーツセンターでスピードスケートを行った。午前のアイスホッケーの決勝では準々決勝、準決勝を勝ち上がった白樺学園が王者・駒大苫小牧と対戦。第1ピリオドに3点を先行された白樺学園は、第2ピリオドにも失点して0―4で敗れ、初優勝はならなかった。準優勝は2年連続。21日はスピードスケートが始まり、高校五百㍍では女子が神谷衣理那（白樺学園1年）、男子は三上悟（同3年）が初優勝を果たし、同校アベック優勝を遂げた。同男子一万㍍では宮村健斗（池田3年）が14分56秒08で準優勝。フィギュアはフリースケーティング（FS）を行い、女子（少年）は長谷川圓（帯広ノースウイングFC、帯一中3年）が5位、管内高校生では多賀谷麻央（江陵1年）の6位が最高。アイスホッケーは準々決勝で清水が敗退。白樺学園は苫小牧工に勝利し、準決勝では北海道栄を4―3で破り決勝進出を決めた。

（中津川甫、金野和彦）

【決勝・白樺学園―駒大苫小牧】実力を発揮できず決勝で敗れた白樺学園の選手は、試合終了後に無念な表情を見せる

武井淳貴主将

上川 巧

# 王者との力の差実感

## インターハイへ「すべて鍛え直す」

王者駒大苫小牧の壁は厚かった。昨年同様に第1ピリオドから3失点。1点目、2点目はキルプレーから許した。「この3点がゲームを決めてしまった」湊谷匡晃監督の表情に悔しさがにじむ。

立ち上がりはよかった。だが反則が流れを決定的に変えた。GK上川巧（3年）は今月上旬の世界U―20選手権大会でベストGKに選ばれた守護神だったが、人数減による守備のすきを突かれた。「苫駒とは点差以上の差はある。実力も精神的にも」上川は王者の底力を痛感した。

今年8月の全国選抜大会では3―2で勝利していた。ロースコアに持ち込めば勝機はあったが、白樺らしい速いホッケーも展開できなかった。

選手たちは控室で悔しさのあまりすすり泣いた。湊谷監督は「顔を上げろ。体力だけではなく精神的にももっとタフになれ」と檄（げき）を飛ばした。

次のステージは来年1月下旬のインターハイ。面もすべて鍛えて死ぬ気で1カ月練習していきたい」と雪辱を誓った。

### フィギュア

### 姉妹で上位に 今後の飛躍誓う

○…初日のショートプログラム（SP）5位の長谷川圓（帯広ノースウイングFC、帯一中3年）は、フリースケーティング（FS）でトリプルルッツやサルコに挑戦したが成功せず6位。それでも全体では高校生相手に5位と健闘した。

姉の愛（白樺学園2年）はSP、FSともに7位で全体でも7位。FSでは「練習でノーミスだったのに本番ではうまくいかなかった。転倒はなかったけれど、簡単なジャンプミスが出た」と反省。インターハイでは予選通過を目標に掲げる。

長谷川圓

長谷川愛

### ダブルアクセル成功よかった

多賀谷麻央

**女子6位の多賀谷麻央（江陵1年）の話** 前日のSPでは最初のジャンプと2回目のサルコが転んで失敗してしまったが、FSではダブルアクセルが成功するなどうまくいってよかった。次の大会では今回と同じようなミスをしないよう頑張りたい。

### アイスホッケー

◇決勝（22日）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 駒大苫小牧 | 4 | 3 | 1 | 0 | 0 | |
| 白樺学園 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |

▽得点者【駒】①渡邊（1P9分57秒）②伊藤（西里1P10分39秒）③水内（高橋）④伊藤（寺尾）山野下（2P17分30秒）

▽反則【駒】4（羽賀、寺尾、高見、チーム）【白】8（章森3、阿部2、山田2、武井）

▽シュート数【駒】54（19、19、16）【白】30（10、7、13）

◇準々決勝（21日）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 北海道栄 | 3 | 1 | 1 | 0 | 1 | |
| 清水 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | |
| 延長 | | | | | | |

▽得点者【北】①佐々木一（2P11分26秒）②喜多（3P9分57秒）③佐々木一（赤木）（延長1分59秒）

【清】①山野下（多田）（1P9分32秒）②木合（山野下）照井（3P19分48秒）

▽反則【北】11（喜多3、佐々木一3、脇坂2、岡山、山口、袴田）【清】6（本野2、西郷、宮川、高橋、尾崎）

▽審判＝山内、三浦、瀧澤（21日）

◇準々決勝

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 白樺学園 | 8 | 2 | 1 | 0 | 2 | |
| 苫小牧工 | 4 | 0 | 2 | 2 | 0 | |

▽得点者【白】①佐藤謙（小原）（1P2分1秒）②阿部（山田）（1P13分24秒）③三村（章森）（小原）（2P3分50秒）④武井（小原）（2P10分15秒）⑤阿部（武井）（3P7秒）⑥阿部（羽賀）武井（3P6分37秒）⑦武井（佐藤謙）章森（3P14分43秒）⑧吉澤（水野）（3P18分35秒）

【苫】①田中（鋼道）土本（2P15分15秒）②土本（村上）（2P5分29秒）

▽シュート数【白】23（6、11、6、1）【苫】32（10、9、12、1）

▽審判＝川合、山内、折

◇準決勝

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 白樺学園 | 4 | 1 | 1 | 0 | 3 | |
| 北海道栄 | 1 | 1 | 0 | 2 | 1 | |

▽得点者【白】①小原（武井（1P3分23秒）②山田（羽賀）阿部（1P19分25秒）③阿部（2P15分13秒）④武井（三村）水原（3P23分40秒）

【北】①橋田（喜多）（1P7分12秒）②入里（3P13分18秒）③間山（佐々木一）（3P18分34秒）

▽反則【白】6（山田3、生田、小原、阿部）【北】2（脇坂、佐々木一）

▽シュート数【白】36（16、11、9）【北】20（8、6、6）

▽審判＝松田、駿本、市川

◇準決勝

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 釧路工 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | |
| 釧路江南 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | |

▽反則【釧】6（章森2、生田、小野、阿部、坂田）【江】6（土本2、鍵谷2、田中、村上）

▽シュート数【釧】40（12、15、13）【江】19（8、7、4）

▽審判＝川口、笹、大頭

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 駒大苫小牧 | 8 | 2 | 2 | 4 | 4 | |
| 苫小牧東 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 駒大苫小牧 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 釧路江南 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | |

▽審判＝松田、駿本、市川

駒大苫小牧
武修館 7-3
帯工 9-0
帯農 8-4
苫小牧東 0-16
苫小牧西 3-2
釧路工 0-18
苫小牧南 2-1
釧路江南 1-23
江陵 4-0
北海道栄 1-5
釧路北陽 16-2
清水 3-2
釧路東・湖陵 12-0
苫小牧工 3-2
帯三条 0-11
釧路西・明輝 3-4
北海 1-2
白樺学園 6-8

# 大菅2位 渡邊4位 女子五百1回目

## スピードスケート 全日本スプリント開幕

【釧路】スピードスケートの第34回全日本スプリント選手権（日本スケート連盟主催）が22日から釧路市内の柳町スピードスケート場で開幕し、大菅小百合（大和ハウス工業―白樺学園高出）が39秒97で2位に入った。渡邊ゆかり（富士急―白樺学園高出）が4位。吉井小百合（日本電産サンキョー）が39秒58で首位、ワールドカップ（W杯）前半戦の代表組が上位5位までを占めた。

大会はW杯後半戦と世界スプリント選手権の代表選考会。23日まで2日間にわたって行い、男女とも五百㍍、千㍍を各2回滑って合計得点を争う。

（古川雄介、折原徹也）

【女子五百㍍１回目】渡邊ゆかり（富士急―白樺学園高出）は力強い滑りで４位につける

子五百㍍の1回目が行われ、大菅小百合（大和ハウス工業―白樺学園高出）が39秒97で2位に入った。初日は午前10時から女